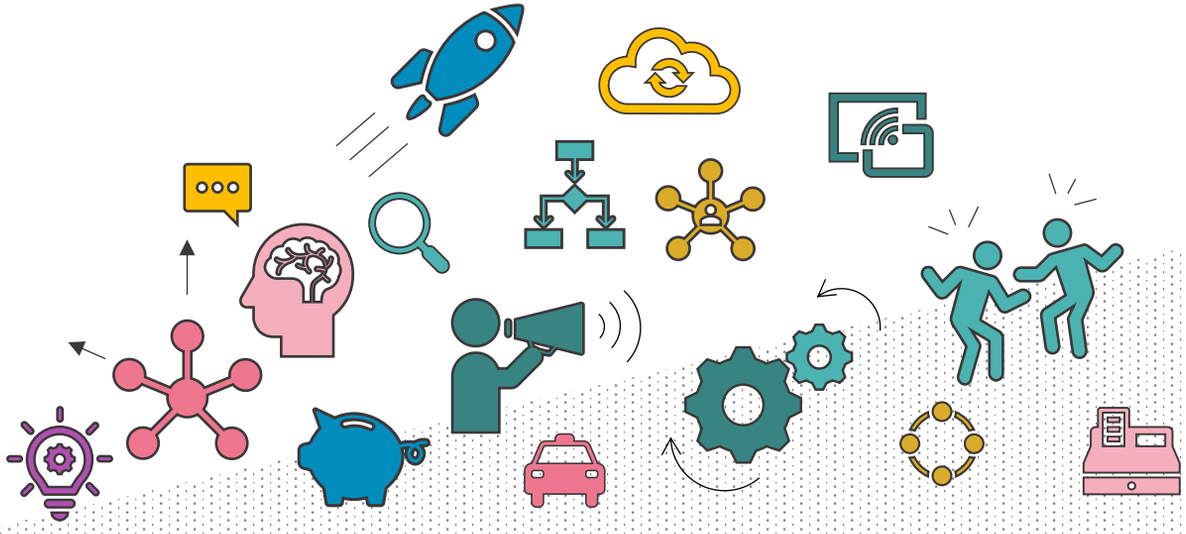
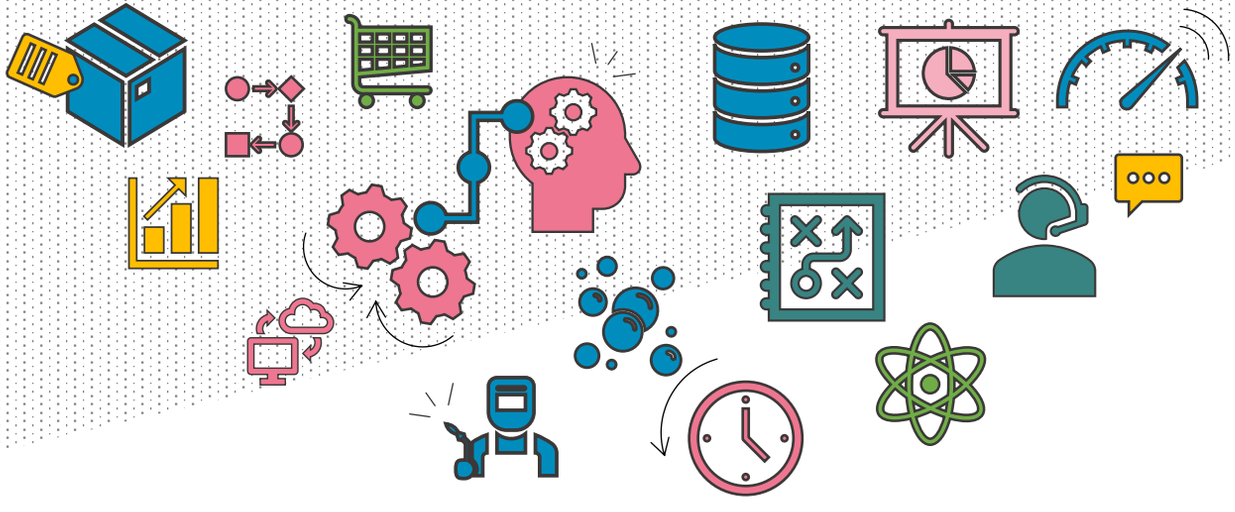


使い方がイメージできる！

krewData厳選シナリオ集

kintoneプラグインで楽々データ整形・編集



脱Excelを加速する

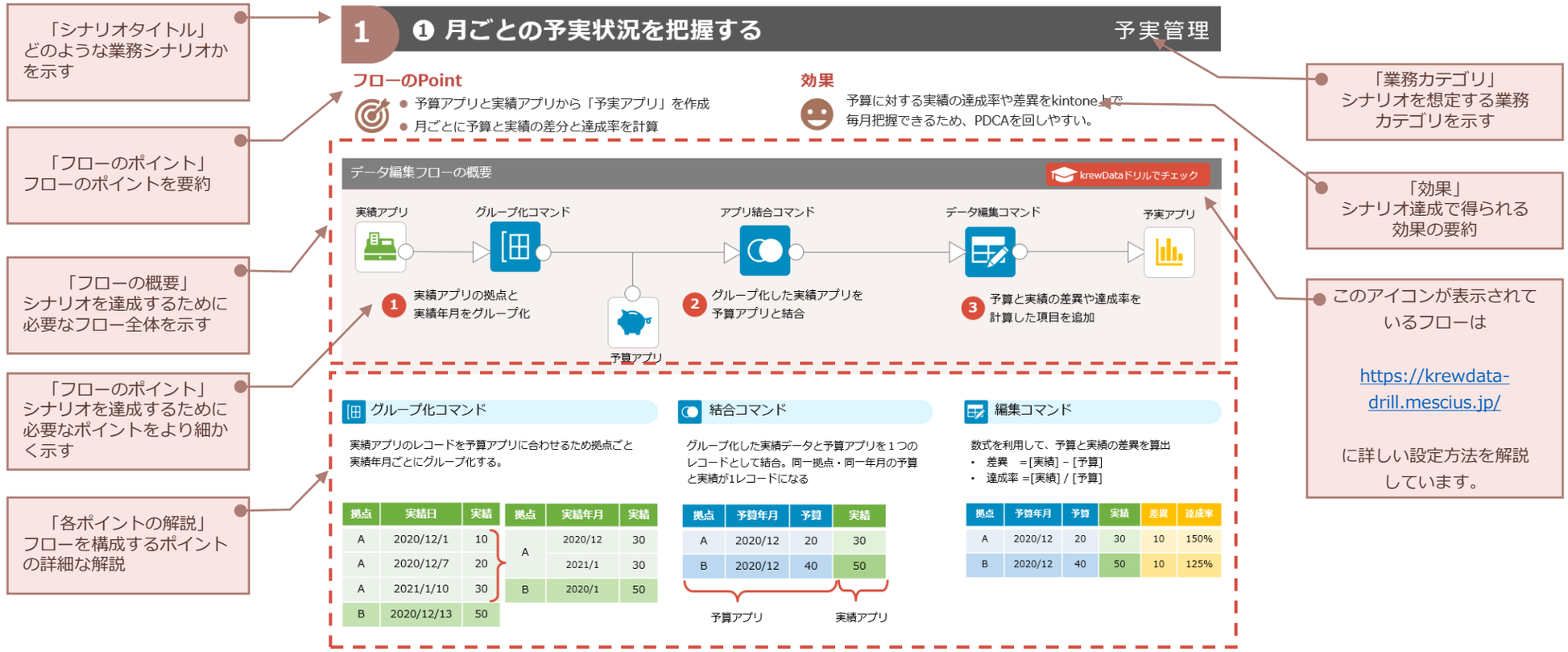
krew

はじめに

krewDataは複数のkintoneアプリのデータを集計・加工し、新しいkintoneアプリを作成したり、既存アプリのデータを更新したりできるプラグインです。これらの処理はスケジュールでの定期実行と、APIやWebHookをトリガーとしたリアルタイム実行が可能です。

本資料では、krewDataを利用して実現できる業務シナリオを厳選し、業務カテゴリに分けてダイジェストで掲載しています。掲載しているシナリオは実際に活用されているユーザーのフィードバックに基づくものでありながら、幅広いユーザーの業務に当てはめることができる汎用性を意識してピックアップしています。krewDataを自社の業務でどう活用して良いかイマイチピンとこない、krewDataの活用をもっと広げたいというユーザーにとってはインスピレーションの源になること間違いなしです。

シナリオの見方



も・く・じ

はじめに 02
もくじ 03
krewDataの基本 04
データ編集フローの実行方法 05
kintoneの外にあるデータの活用 31
krewDataに関するお問合せ 35

厳選シナリオ

1 予実管理
1. 月ごとの予実状況を把握する 06
2. 期中の予実状況を累計で把握する 07
3. 全社と部門の予実状況を把握する 08

2 営業分析
1. 営業活動の全体状況を把握する 09
2. 商談フェーズをパイプライン化する 10
3. 営業活動の当月の進捗を把握する 11

3 工数管理
1. プロジェクトの全体工数を把握する 12
2. 作業工程ごとの工数を把握する 13

4 原価管理
1. 原価の妥当性を把握する 14

5 購買管理
1. 仕入先ごと(ゲストスペースごと)に発注管理する 15
2. 仕入先ごとに管理した発注情報を検収管理する 16

6 売上管理
1. 各売上エリアの特色を把握する 17
2. 四半期ごとの売上状況を把握する 18

7 昨対比
1. 実績の前年比を把握する 19
2. 販促キャンペーンを評価する 20

8 請求管理
1. 請求書を自動出力する 21

9 会計連携
1. 外部の会計サービスにデータを連携する 22

10 顧客管理
1. 顧客情報をクレンジングする 23
2. 関連する案件金額の合計をリアルタイムに集計する 24

11 マスタ管理
1. 点在するマスタ情報を統合する 25
2. マスタ更新をリアルタイムに反映する 26

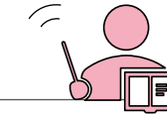
12 在庫管理
1. 在庫引当を自動化する 27
2. 不足する在庫を発注依頼する 28

13 受注管理
1. 見積から受注伝票を自動出力する 29

14 経費管理
1. 経費予算の利用状況を把握する 30

15 外部データ連携
1. 基幹システムの顧客情報を同期する 32
2. Excel請求書をkintoneで管理する 33
3. クラウド型販売管理システムの売上実績を連携する 34

krewData の基本



データ編集フロー作成のステップ

1 入力アプリを選択

データ取得元のアプリを選択(複数選択可)

2 編集コマンドを定義

コマンドを組み合わせてデータを集計加工

3 出力アプリを選択

データ出力先のアプリを選択(複数選択可)

コマンド一覧

入出力アプリ

コマンド	機能
入力アプリ	データ取得元のアプリを選択（複数選択可）
出力アプリ	データ出力先のアプリを選択

フィールド操作

コマンド	機能
定数の追加	フィールドを追加して定数（固定値）を設定
フィールド結合	複数のフィールドの値を結合して新しいフィールドに保存
データ編集	フィールドデータを編集して既存または新しいフィールドに設定
フィールド選択	使用するフィールドの選択、フィールドの並び順の変更および名前の変更
フィールドタイプ設定	選択したフィールドのフィールドタイプを変更

レコード操作

コマンド	機能
グループ化	指定したフィールドでアプリのレコードをグループ化集計
列ー行変換	フィールドをレコードへデータ構造を変更
行ー列変換	レコードフィールドへデータ構造を変更
フィルタ	指定したフィールドでレコードを絞り込み
重複の削除	指定したフィールドで重複しているレコードを削除
テーブル展開	テーブルを展開しレコードを作成
テーブル作成	レコードからテーブルを作成

データ結合

コマンド	機能
レコード結合	複数アプリのレコードをマージ
アプリ結合	複数のキー項目によりアプリ間にリレーションを設定

外部連携

コマンド	機能
RepotoneU出力	RepotoneUの帳票出力を実行

一部のコマンドを掲載しています。
最新情報はWebサイトでご確認ください。

krewDataのプランとデータ編集フローの実行方法

krewDataには、実行タイミングによって2つのプランがあります。集計処理を実行したいタイミングに最もマッチするプランと方法を選択することで、kintoneで一気通貫な業務システムを構築できます。※krewSheetで実行するには、krewSheetのライセンスが必要です

スケジュール実行プラン

スケジュール実行

予実管理のような定期集計が必要な業務

リアルタイム実行プラン

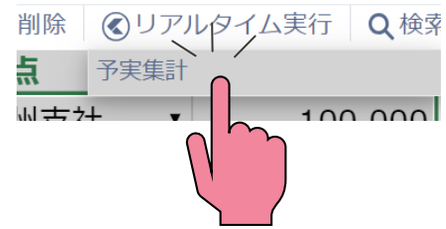
Webhookで実行

在庫引当などレコード編集に応じたリアルタイム処理が必要な業務

APIで実行

カスタマイズなどで柔軟なリアルタイム処理が必要な場合

krewSheetで実行※



krewSheetと連携させることで作業負担をさらに軽減

1 ❶ 月ごとの予実状況を把握する

予実管理

フローのPoint

- 予算アプリと実績アプリから「予実アプリ」を作成
- 月ごとに予算と実績の差分と達成率を計算

効果

予算に対する実績の達成率や差異をkintone上で
毎月把握できるため、PDCAを回しやすい。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック

グループ化コマンド

実績アプリのレコードを予算アプリに合わせるため拠点ごと
実績年月ごとにグループ化する。

拠点	実績日	実績
A	2020/12/1	10
A	2020/12/7	20
A	2021/1/10	30
B	2020/12/13	50

拠点	実績年月	実績
A	2020/12	30
	2021/1	30
B	2020/1	50

結合コマンド

グループ化した実績データと予算アプリを１つの
レコードとして結合。同一拠点・同一年月の予算
と実績が1レコードになる

拠点	予算年月	予算	実績
A	2020/12	20	30
B	2020/12	40	50

予算アプリ　　実績アプリ

編集コマンド

数式を利用して、予算と実績の差異を算出

- 差異　=[実績] - [予算]
- 達成率 =[実績] / [予算]

拠点	予算年月	予算	実績	差異	達成率
A	2020/12	20	30	10	150%
B	2020/12	40	50	10	125%

1 ❷ 期中の予実状況を累計で把握する

予実管理

フローのPoint

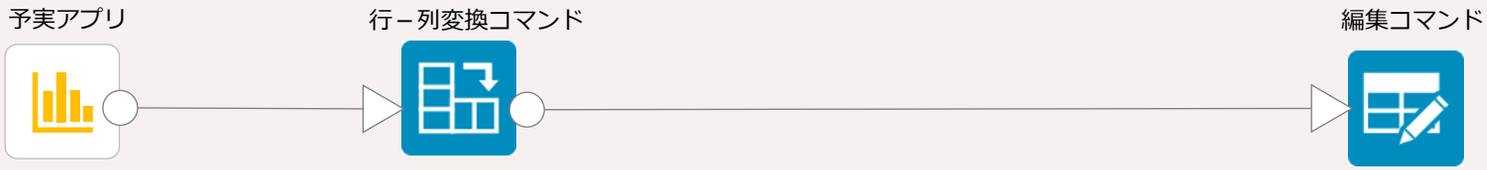
- 月ごとの予実レコードを1レコードにまとめる
- 実績と予算の累計を計算する

効果

実績と予算の累計を算出することで積み上げ額を
把握できるため、期を通しての達成状況を把握しやすい。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



1 予実アプリの「月」のレコードを項目として横（列）方向に並ぶよう成型する

2 項目に変換した月ごとに予算と実績をそれぞれ累計する

行－列変換コマンド

予実アプリの月のレコードを項目に変換し、列方向並べて累計できるようレコードの構成を変換する。

部門名	年	月	金額	予実区分
第1営業部	2020	4	790	予算
第1営業部	2020	5	410	予算
第1営業部	2020	4	200	実績
第1営業部	2020	5	650	実績
第2営業部	2020	4	700	予算
第2営業部	2020	4	320	実績

レコードを項目に変換

部門名	年	予実区分	4月	5月	6月	…月
第1営業部	2020	予算	790	410	350	
第1営業部	2020	実績	200	650	300	
第2営業部	2020	予算	700	500	600	
第2営業部	2020	実績	320	310	750	

金額は各月の値

編集コマンド

数式を利用して、累計を算出

- 5月累計 = [4月] + [5月]
- 6月累計 = [4月] + [5月] + [6月] …

部門名	年	予実区分	4月累計	5月累計	6月累計	…月
第1営業部	2020	予算	790	1200	1550	
第1営業部	2020	実績	200	850	1150	
第2営業部	2020	予算	700	1200	1800	
第2営業部	2020	実績	320	630	1380	

例：6月累計＝700+500+600=1800

1 ❸ 全社と部門の予実状況を把握する

予実管理

フローのPoint

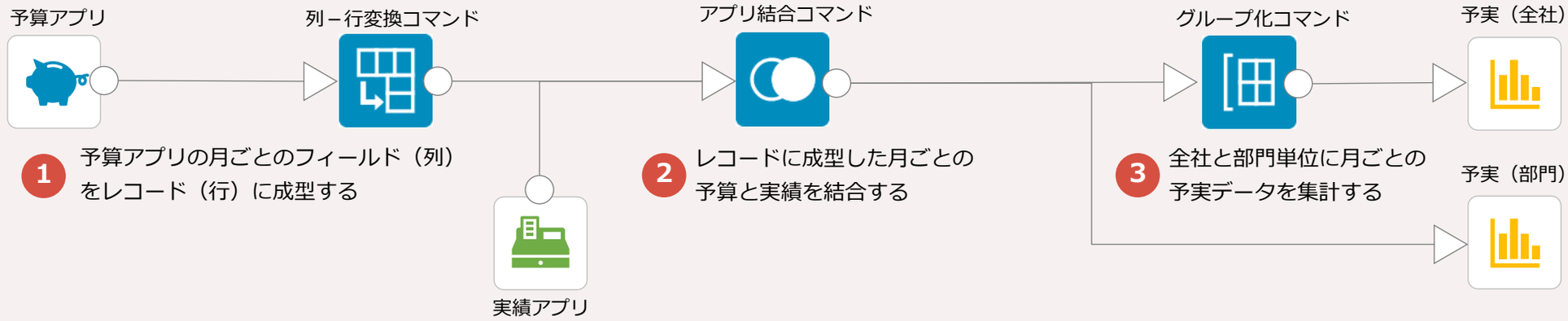
- 予算アプリの1レコードを月ごとのレコードに成型
- 成型した予実データを全社と部門ごとに集計

効果

全社・部門単位で集計した予実データを作成することで、
全体状況をベースに、より詳細レベルで状況を把握できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



列－行変換コマンド

予算アプリの月ごとのフィールド（列）をレコード（行）に成型する。

フィールドをレコードに変換

部門名	年	4月	5月	6月	…月
第1営業部	2020	790	410	350	
第2営業部	2020	320	310	750	

部門名	年	月	金額
第1営業部	2020	4	790
第1営業部	2020	5	410
第1営業部	2020	6	350
第2営業部	2020	4	320
第2営業部	2020	5	310

金額は各月の値

アプリ結合コマンド

成型した予算データと月ごとに集計した
実績データを１つのレコードとして結合する。

予実（部門）

部門名	年	月	予算	実績
第1営業部	2020	4	790	800
第1営業部	2020	5	410	400
…				
第2営業部	2020	4	320	270
第2営業部	2020	5	310	200

予算アプリ　　実績アプリ

グループ化コマンド

予実データを全社単位で集計する。

予実（全社）

年	月	予算	実績
2020	4	790	800
2020	5	410	400
…			
2021	2	320	270
2021	3	310	200

2 ❶ 営業活動の全体状況を把握する

営業分析

フローのPoint

- フェーズごとの商談件数と予定金額を集計する
- 受注率や失注率など全体状況把握に必要な情報を補足する

効果

商談件数、受注件数、予定金額などを集計することで、営業活動の全体状況を把握できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック

1. フェーズごとのデータを抽出
2. フェーズごとの商談件数と全体の予定金額を集計
3. 受注率と失注率を計算し項目を追加

フィルタコマンド

案件アプリからフェーズごとにデータを抽出する

- [フェーズ] = 商談中
- [フェーズ] = 受注　　など

商談中

部門	取引先	フェーズ	予定金額
第1営業部	取引先A	商談中	10
…			
第2営業部	取引先Z	商談中	10

受注

部門	取引先	フェーズ	予定金額
第1営業部	取引先C	受注	50
…			
第2営業部	取引先Y	受注	10

グループ化コマンド

部門をキーにグループ化してフェーズごとの件数と予定金額の合計を集計する

部門	商談件数	予定金額
第1営業部	8	150
第2営業部	10	190

部門	商談中
第1営業部	3
第2営業部	5

部門	受注
第1営業部	3
第2営業部	4

部門	失注
第1営業部	2
第2営業部	1

データ編集コマンド

部門ごとに1レコードにまとめ、受注率、失注率などを計算する

- 受注率 =[受注] / [商談件数]
- 失注率 =[失注] / [商談件数]

部門	商談件数	商談中	受注	受注率	失注	失注率	予定金額
第1営業	8	3	3	38%	2	25%	150
第2営業	10	5	4	40%	1	10%	190

2 ❷ 商談フェーズをパイプライン化する

フローのPoint

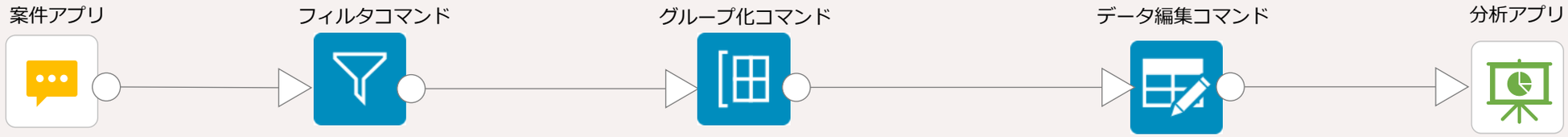
- 商談フェーズまでの累計件数を集計する
- 次フェーズへの進展率を計算し情報を補足する

効果

商談フェーズをパイプライン化することで
フェーズ単位での課題点を把握できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



1. 案件アプリから各フェーズまでの商談を抽出
2. フェーズまでの商談件数を集計する
3. 進展率を計算し項目を追加

フィルタコマンド

案件アプリからフェーズまでの累計商談を抽出する

- 問合せ以上 = すべて
- ヒアリング以上 = ヒアリング or 提案 or 見積 or 最終交渉 or 受注
- 提案以上 = 提案 or 見積 or 最終交渉 or 受注
- 見積以上 = 見積 or 最終交渉 or 受注
- 最終交渉以上 = 最終交渉 or 受注
- 受注 = 受注

最終交渉以上

部門	取引先	フェーズ
第1営業部	取引先X	最終交渉
第1営業部	取引先Y	最終交渉
第1営業部	取引先Z	受注

受注

部門	取引先	フェーズ
第1営業部	取引先Z	受注
第1営業部	取引先A	受注
第1営業部	取引先B	受注

グループ化コマンド

抽出したデータを部門ごとに集計し各フェーズに進行した商談件数を集計する

部門	問合せ
第1営業部	18
第2営業部	18

部門	ヒアリング
第1営業部	15
第2営業部	16

部門	提案
第1営業部	12
第2営業部	14

部門	見積
第1営業部	9
第2営業部	12

部門	最終交渉
第1営業部	6
第2営業部	7

部門	受注
第1営業部	5
第2営業部	2

データ編集コマンド

部門ごとに1レコードにまとめ、フェーズごとの進展率を計算する

- ヒアリング進展率 = ヒアリング / 問合せ
- 受注進展率 = 受注 / 問合せ

部門	問合せ	ヒアリング	ヒアリング進展率
第1営業部	18	15	84%
第2営業部	18	16	89%

…	受注	受注進展率
	5	28%
	2	11%

2 ❸ 営業活動の当月の進捗を把握する

営業分析

フローのPoint

- 月初に案件アプリをコピー(退避)する
- 月末時点の案件アプリと月初のレコードを突合する

効果

月初の案件状況と月末の案件状況を比較することで、
今月の営業活動の進捗を把握し、活動を振り返れる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック

出力アプリコマンド

案件アプリから月初時点の商談データを
退避用アプリにコピー出力しておく

部門	取引先	フェーズ	予定金額
第1営業部	取引先A	見積	30
第1営業部	取引先B	問合せ	50
第1営業部	取引先C	提案	20
第1営業部	取引先Z	見積	30

案件アプリ（月初）

アプリ結合コマンド

月初と月末時点の案件レコードを結合し、1レコードに
まとめる

部門	取引先	フェーズ	フェーズ(月初)	予定金額	予定金額(月初)
第1営業部	取引先A	最終交渉	見積	30	30
第1営業部	取引先B	提案	問合せ	100	50
第1営業部	取引先C	見積	提案	20	20
第1営業部	取引先Z	見積	見積	30	30

データ編集コマンド

進捗状況、予定金額差異などを計算する

- 進捗状況 = IF([フェーズ]<>[フェーズ(月初)],"進展あり","進展なし")
- 予定金額差異 = [予定金額] - [予定金額(月初)]

部門	取引先	フェーズ	フェーズ(月初)	進捗状況	予定金額	予定金額(月初)	予定金額差異
第1営業部	取引先A	最終交渉	見積	進展あり	30	30	0
第1営業部	取引先B	提案	問合せ	進展あり	100	50	50
第1営業部	取引先C	見積	提案	進展あり	20	20	0
第1営業部	取引先Z	見積	見積	進展なし	30	30	0

3 ❶ プロジェクトの全体工数を把握する

フローのPoint

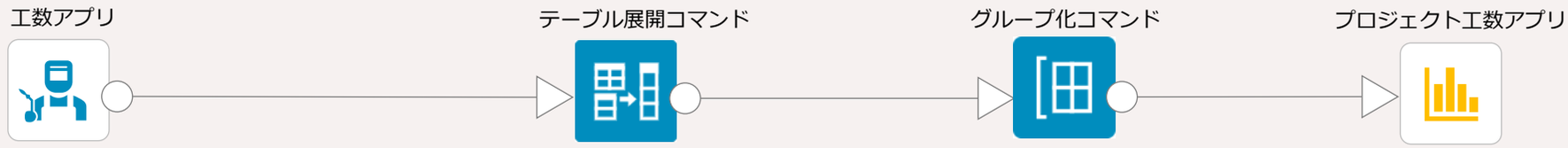
- 各担当者の工数をレコードとして展開する
- プロジェクトごとの工数を集計する

効果

各担当者の作業工数をプロジェクトの作業工数として集計し、プロジェクトの負荷状況を把握することができる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック

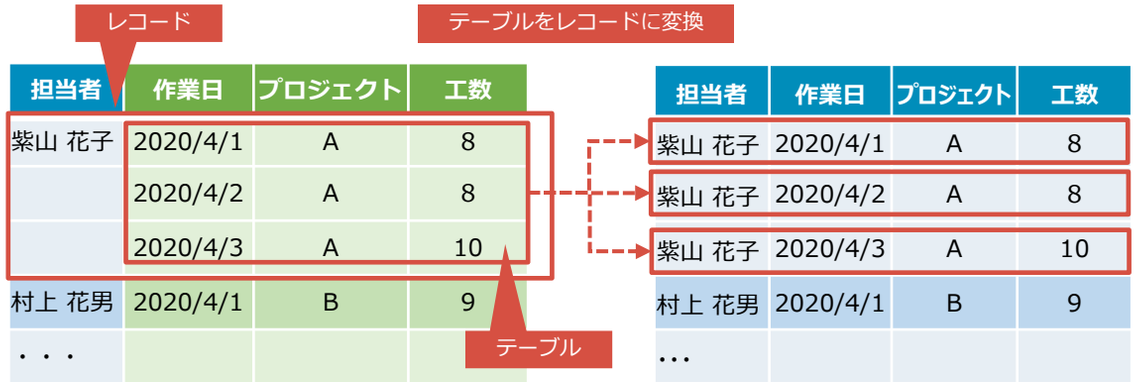


1 テーブルデータをレコードに展開

2 プロジェクトごとの工数を集計する

テーブル展開コマンド

各担当者が工数アプリのテーブルに登録した工数データをレコードに展開する



担当者	作業日	プロジェクト	工数
紫山 花子	2020/4/1	A	8
	2020/4/2	A	8
	2020/4/3	A	10
村上 花男	2020/4/1	B	9
・・・			

担当者	作業日	プロジェクト	工数
紫山 花子	2020/4/1	A	8
紫山 花子	2020/4/2	A	8
紫山 花子	2020/4/3	A	10
村上 花男	2020/4/1	B	9
...			

グループ化コマンド

担当者ベースだった工数データをプロジェクトと作業年月ごとに工数データとして集計する

プロジェクト	作業年月	工数
A	2020/4	240
B	2020/4	180
...		

3 ❷ 作業工程ごとの工数を把握する

フローのPoint

- 工数アプリ(実績)と予定工数アプリを結合する
- プロジェクトごとの工数をテーブルとして作成する

効果

工程ごとの工数として集計し、実績と予定を突合することで詳細な生産性を把握し、プロジェクトの改善につなげる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック

テーブル展開コマンド

工数アプリのテーブルをレコードに展開することでプロジェクトと工程ごとに工数を集計できるようにする

テーブル

担当者	作業日	プロジェクト	工程	工数
紫山 花子	2020/4/1	A	設計	8
	2020/4/2	A	設計	8
	2020/4/3	A	設計	10
村上 花男	2020/4/1	A	加工	9
・・・				

レコード

担当者	作業日	プロジェクト	工程	工数
紫山 花子	2020/4/1	A	設計	8
紫山 花子	2020/4/2	A	設計	8
紫山 花子	2020/4/3	A	設計	10
村上 花男	2020/4/1	A	加工	9
…				

アプリ結合コマンド

プロジェクトの工程ごとに工数を集計し予定工数アプリと結合する

作業年月	プロジェクト	工程	予定工数	実績工数
2020/4	A	設計	90	80
2020/4	A	加工	100	120
2020/4	A	組立	140	150
2020/4	A	検証	60	80
…				

テーブル作成コマンド

プロジェクトの工程ごとで冗長なレコードを、テーブルとして作成することで、プロジェクト単位で分析する際のデータ視認性を向上させる

作業年月	プロジェクト	工程	予定工数	実績工数
2020/4	A	設計	90	80
2020/4	A	加工	100	120
2020/4	A	組立	140	150
2020/4	A	検証	60	80
…				

テーブル

作業年月	プロジェクト	工程	予定工数	実績工数
2020/4	A	設計	90	80
		加工	100	120
		組立	140	150
		検証	60	80
…				

4 ❶ 原価の妥当性を把握する

フローのPoint

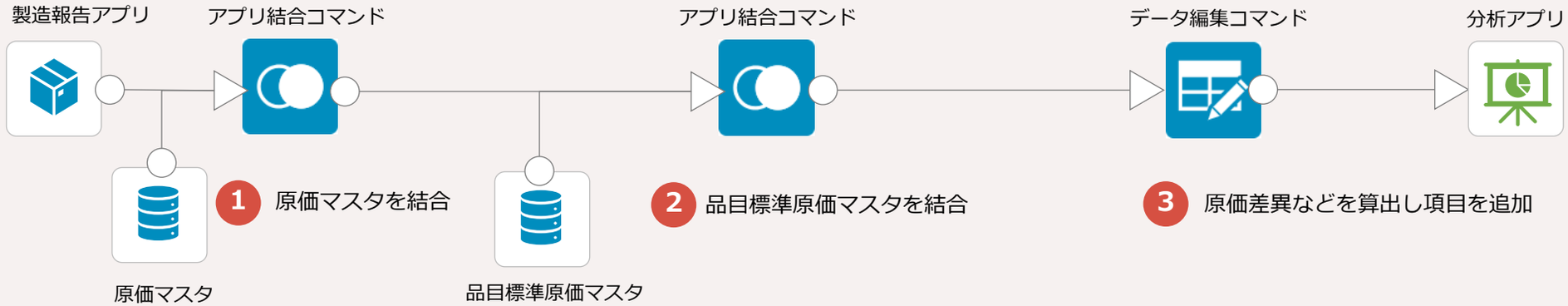
- 製造報告アプリに原価マスタを結合する
- 標準原価マスタを結合して実際原価と比較する

効果

実際原価を集計し、標準原価と比較することで
原価精度の向上につなげることができる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



アプリ結合コマンド

製造報告アプリと原価マスタを結合して実際原価を算出する

- 実際原価 = [数量] * [単価]

製造報告

製造品目	費用区分	材料	数量
プラシカル	直接材料	QO基盤	1
…			

原価マスタ

費用区分	材料	単価
直接材料	QO基盤	150
間接材料	グリス	10
…		

製造品目	費用区分	材料	数量	単価	実際原価
プラシカル	直接材料	QO基盤	1	150	150
プラシカル	間接材料	グリス	20	10	200
…					

アプリ結合コマンド

品目と費用区分で集計した実際原価と、品目標準原価マスタを結合して、標準原価を比較できるようにする

品目標準原価マスタ

品目	費用区分	標準原価
プラシカル	直接材料	2500
プラシカル	間接材料	450
プラシカル	労務費	1000

製造品目	費用区分	実際原価	標準原価
プラシカル	直接材料	2200	2500
プラシカル	間接材料	450	450
プラシカル	労務費	1200	1000

データ編集コマンド

原価差異と差異率を計算し、項目追加する

- 原価差異 = [実際原価] – [標準原価]
- 差異率 = [実際原価] / [標準原価]

製造品目	費用区分	実際原価	標準原価	原価差異	差異率
プラシカル	直接材料	2200	2500	-300	88%
プラシカル	間接材料	450	450	0	100%
プラシカル	労務費	1200	1000	200	120%

5 ❶ 仕入先ごと(ゲストスペースごと)に発注管理する

購買管理

フローのPoint

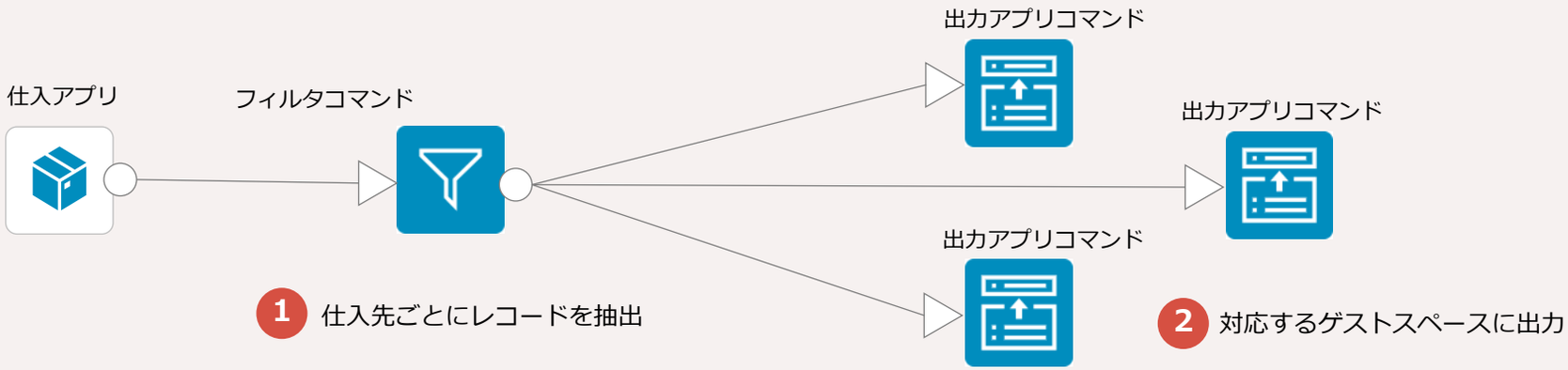
- 仕入先ごとに発注情報を抽出する
- 仕入先ごとに設けたゲストスペースに出力する

効果

仕入先ごとのゲストスペースへ発注情報を出力することで、
管理業務の簡略化と円滑なコミュニケーションができる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



フィルタコマンド

仕入アプリから仕入先ごとに発注情報を抽出する

発注日	仕入先	品目	個数	納品希望日
2020/4/1	重鉄三橋	セグメントQ	150	2020/4/20
2020/4/3	高知食原	ビタモンD	300	2020/4/13
2020/4/7	モータウン	乳化剤09	130	2020/4/24

別スペースのアプリにデータ出力

出力アプリコマンド

抽出した仕入先ごとの発注情報をスペースを跨いで
対応するゲストスペースに出力する

ゲストスペース

発注日	仕入先	品目	個数	納品希望日
2020/4/1	重鉄三橋	セグメントQ	150	2020/4/20

重鉄三橋

発注日	仕入先	品目	個数	納品希望日
2020/4/3	高知食原	ビタモンD	300	2020/4/13

高知食原

発注日	仕入先	品目	個数	納品希望日
2020/4/7	モータウン	乳化剤09	130	2020/4/24

モータウン

5 ❷ 仕入れ先ごとに管理した発注情報を検収管理する

購買管理

フローのPoint

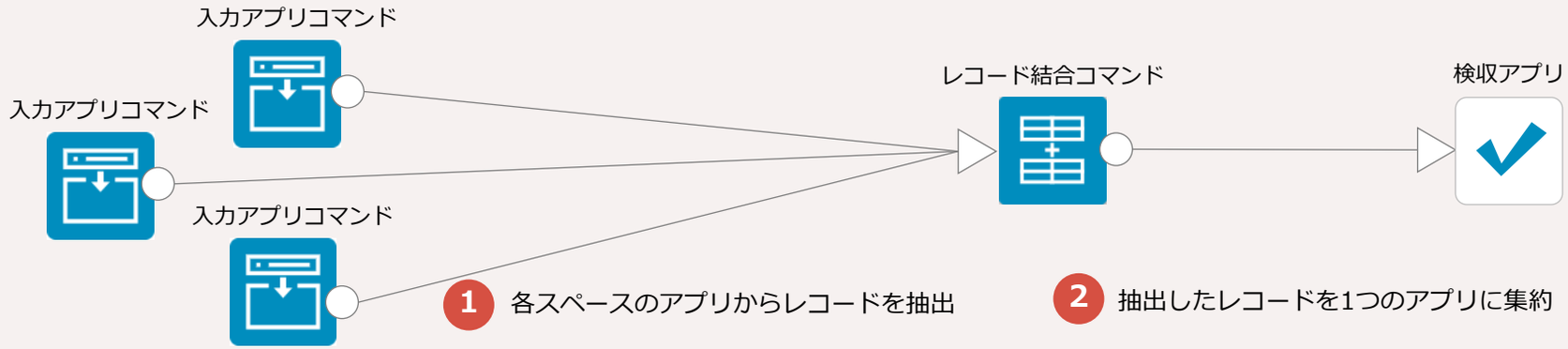
- 仕入先ごと別々のスペースにある発注情報を検収アプリに集約する

効果

別々のスペースにある発注情報を1つの検収アプリに集約し管理業務をシンプルに効率化できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



入力アプリコマンド

各ゲストスペースのアプリからステータスが発送済みを条件にレコードを抽出する

ゲストスペース

重鉄三橋

ステータス	受注日	仕入先	品目	個数	発送日
発送済み	2020/4/1	重鉄三橋	セグメントQ	150	2020/4/7

高知食原

ステータス	受注日	仕入先	品目	個数	発送日
発送済み	2020/4/3	高知食原	ビタモンD	300	2020/4/10

モータウン

ステータス	受注日	仕入先	品目	個数	発送日
発送済み	2020/4/7	モータウン	乳化剤09	130	2020/4/15

レコード結合コマンド

各ゲストスペースから抽出した納品情報をレコード結合して、検収アプリに集約する

複数アプリのレコードを1つのアプリに集約

ステータス	受領日	仕入先	品目	個数
検収完了	2020/4/8	重鉄三橋	セグメントQ	150
受領済み	2020/4/12	高知食原	ビタモンD	300
受領済み	2020/4/17	モータウン	乳化剤09	130

6 ❶ 各売上エリアの特色を把握する

フローのPoint

- 売上レコードを販売店舗から任意のエリアに分別する
- エリアごとに各製品の売上を集計する

効果

売上をエリアごとに集計することで、特色を把握し
エリアごとの販売活動の改善に繋げることができる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック

1. 売上アプリのから任意エリアでレコードを抽出
2. 集計用の区分を追加
3. 区分で売上を集計

フィルタコマンド

フィルタコマンドを利用して売上アプリから任意エリアごとのレコードを抽出する

- 東北=青森 or 秋田 or 岩手 or 山形 or 宮城 or 福島
- 北関東 = 栃木 …

店舗	製品分類	売上
青森	AV家電	330
秋田	生活家電	200
福島	カメラ類	70
…		

定数の追加コマンド

抽出したレコードにエリアフィールドとして
エリアを分別できる区分を追加する

店舗	製品分類	売上	エリア
青森	AV家電	330	東北
秋田	生活家電	200	東北
福島	カメラ類	70	東北
…			

グループ化コマンド

追加したエリア区分と製品分類で売上を集計する

エリア	製品分類	売上
東北	AV家電	560
北関東	AV家電	540
首都圏	AV家電	800
…		

6 ❷ 四半期ごとの売上状況を把握する

フローのPoint

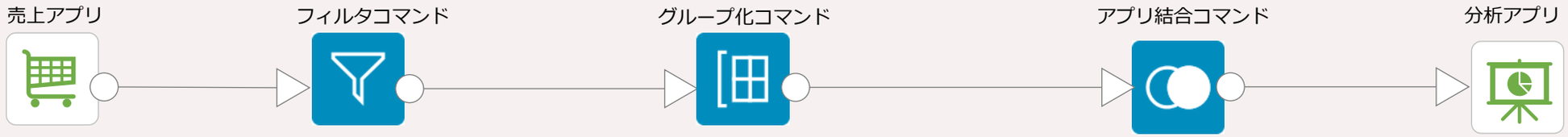
- 四半期ごとに売上を抽出し集計する
- 四半期ごとの売上を1レコードにまとめる

効果

一定期間での売上状況を把握し、
短期的な販促内容の分析と改善を実施できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



1. 売上アプリから四半期ごとのレコードを抽出する
2. 四半期ごとの売上を集計する
3. 集計した売上を1レコードにまとめる

フィルタコマンド

売上アプリから四半期ごとの売上を抽出する

- 第1四半期 = 2020/4 ≦ [年月] ≦ 2020/6
- 第2四半期 = 2020/7 ≦ [年月] ≦ 2020/9
- 第3四半期 = 2020/10 ≦ [年月] ≦ 2020/12
- 第4四半期 = 2021/1 ≦ [年月] ≦ 2021/3

第1四半期

店舗	年月	予算	実績
秋葉原	2020/4	10	20
秋葉原	2020/5	10	10
秋葉原	2020/6	30	20
日本橋	2020/4	40	30
・・・			

第4四半期

店舗	年月	予算	実績
秋葉原	2021/1	10	30
秋葉原	2021/2	30	20
秋葉原	2021/3	40	50
日本橋	2021/1	40	30
・・・			

グループ化コマンド

抽出したレコードを店舗ごとに集計し四半期ごとの売上を集計する

第1四半期

店舗	予算	実績
秋葉原	50	50
日本橋	100	80
・・・		

第4四半期

店舗	予算	実績
秋葉原	80	100
日本橋	140	170
・・・		

アプリ結合コマンド

集計した売上を店舗ごとの1レコードにまとめる

店舗	第1四半期予算	第1四半期実績	…	第4四半期予算	第4四半期実績
秋葉原	50	50		80	100
日本橋	100	80		140	170
・・・					

7 ❶ 実績の前年比を把握する　昨対比

フローのPoint

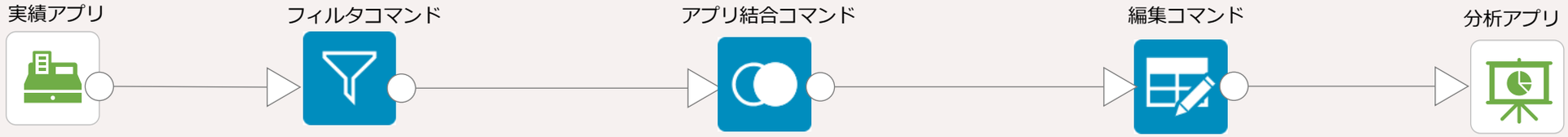
- 実績アプリから前年度の実績を抽出し1レコードにまとめる
- 今年度実績との比率を計算する

効果

前年度実績との比較をすることで、季節要因に影響されずにその月の施策効果を評価できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



1. 実績アプリのから前年度と今年度の実績を抽出
2. 前年度と今年度の実績を結合
3. 実績の前年比を計算し、項目を追加

フィルタコマンド

実績アプリから前年度と今年度の実績レコードを抽出する

- 今年度実績 =2020/4 ≦ [実績年月] ≦ 2021/3
- 前年度実績 =2019/4 ≦ [実績年月] ≦ 2020/3

今年度実績

拠点	実績年月	実績
A	2020/4	30
A	2020/5	30
A	2020/6	50

前年度実績

拠点	実績年月	実績
A	2019/4	10
A	2019/5	20
A	2019/6	30

アプリ結合コマンド

抽出した前年度と今年度の実績データを１つのレコードとして結合。

今年度と前年度実績をまとめる

拠点	実績年月	実績	前年度
A	2020/4	30	10
A	2020/5	30	20
A	2020/6	50	30

編集コマンド

数式を利用して、前年比を算出

- 前年比 =[実績] / [前年度]

拠点	実績年月	実績	前年度	前年比
A	2020/4	30	10	300%
A	2020/5	30	20	150%
A	2020/6	50	30	167%

7 ❷ 販促キャンペーンを評価する　昨対比

フローのPoint

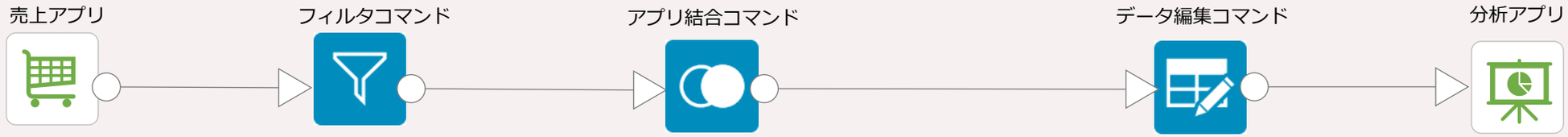
- キャンペーン期間と前年同期間の売上を集計する
- 売上増減など効果指標を計算し情報を補足する

効果

キャンペーン期間中の売上と前年度同期間の売上を集計することで施策効果を評価できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



1. 売上アプリから対象期間の売上を抽出
2. 前年度売上を結合し1レコードにまとめる
3. 増減率を計算し項目を追加

フィルタコマンド

売上アプリからキャンペーン期間と前年同期間のレコードを抽出する

- キャンペーン期間売上 = キャンペーン開始日 ≦ 売上日 ≦ キャンペーン終了日
- 前年同期間売上 =キャンペーン開始日 − 1年 ≦ 売上日 ≦ キャンペーン終了日 − 1年

キャンペーン期間売上

売上日	商品	個数	売上
2020/2/22	洗濯機	6	120
2020/2/22	冷蔵庫	2	30
2020/2/22	テレビ	5	50
…			

前年同期間売上

売上日	商品	個数	売上
2019/2/22	洗濯機	4	120
2019/2/22	冷蔵庫	2	35
2019/2/22	テレビ	3	10
…			

アプリ結合コマンド

抽出したレコードを商品ごとに個数と売上を集計し、商品ごとに結合し1レコードにまとめる

商品	CP期間個数	前年同期間個数	CP期間売上	前年同期間売上
洗濯機	70	60	3000	2700
冷蔵庫	120	40	5000	2500
テレビ	100	90	2500	2500
…				

データ編集コマンド

前年同期間比を計算する

- 個数効果 = CP期間個数 / 前年同期間個数
- 売上効果 = CP期間売上 / 前年同期間売上

商品	CP期間個数	前年同期間個数	個数効果
洗濯機	70	60	117%
冷蔵庫	120	40	300%
テレビ	100	90	112%

CP期間売上	前年同期間売上	売上効果
3000	2700	112%
5000	2500	200%
2500	2500	100%

8 ❶ 請求書を自動出力する

フローのPoint

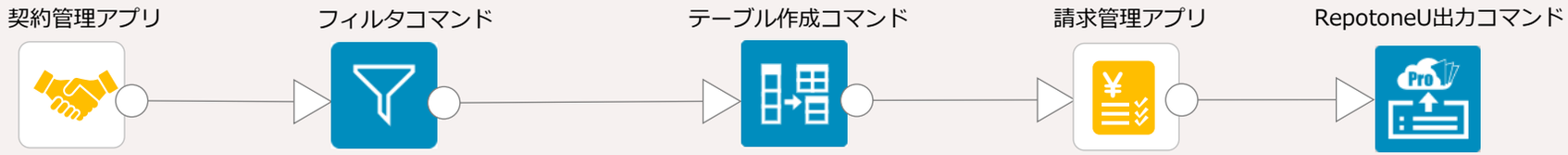
- 契約管理アプリから当月の請求明細をテーブルとして作成する
- 請求情報を自動で帳票出力する

効果

契約情報から各顧客の請求データを作成することで、
毎月の請求業務を自動化できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



1 当月請求対象の契約情報を抽出

2 請求明細としてテーブルを作成

3 請求情報を帳票出力

フィルタコマンド

契約管理アプリから当月の請求対象レコードを抽出する

- 有効な契約 = 当月 ≦ 契約終了日 or 契約終了日が未登録
- 年払で対象 = 契約開始日が当月

※当月を2020/4と仮定

契約番号	顧客名	契約種別	契約開始日	契約終了日	商品	料金
CN01	谷羅食品	月払	2019/9/7		S回線	580
CN02	谷羅食品	月払	2019/9/7	2020/8/6	ITube無制限	40
CN03	丘崎商会	年払	2018/4/5		A回線	320
…						

テーブル作成コマンド

抽出した請求対象レコードを、請求明細テーブルとして作成し、顧客ごとの当月請求情報を1レコードにまとめる

レコード				テーブル	
請求番号	顧客名	請求日	請求料金合計	商品	料金
IN01	谷羅食品	2020/4/1	620	S回線	580
				ITube無制限	40
IN02	丘崎商会	2020/4/1	320	A回線	320
…					

RepotoneU出力コマンド

krewDataの外部連携コマンドである
RepotoneU出力コマンドを利用して、
データ編集フローの実行結果を帳票出力できる。

スケジュール設定とあわせて利用することで、請求情報の作成と請求書出力を自動化する。

※RepotoneUは株式会社ソウルウェアが提供するプラグインです。当コマンドを利用するにはご利用のkintone環境にRepotoneU Proがインストールされている必要があります。

9 ❶ 外部の会計サービスにデータを連携する

会計連携

フローのPoint

- 会計サービスに取込める形にデータ成型する
- データ成型処理を自動実行する

効果

kintoneの販売管理情報を外部の会計サービスにデータ連携することで、販売管理と会計業務間のやりとりを効率化できる。

データ編集フローの概要

1 会計サービスのインターフェースに合わせてデータ成型

2 CSVファイル取込み機能で
会計サービスにデータを取込み

データ編集コマンド

販売管理アプリのレコードをデータ成型し会計サービスのインターフェースに合わせた仕訳データを作成する

販売管理アプリ

レコード　テーブル

顧客名	売上日	売上金額合計	商品名	料金
谷羅食品	2020/4/3	620	S回線	580
			ITube無制限	40
丘崎商会	2020/4/5	320	A回線	320

データ成型

仕訳データ

仕訳日	勘定科目	貸借	金額
2020/4/3	売掛金	借方	620
2020/4/3	売上高	貸方	620
2020/4/5	売掛金	借方	320
2020/4/5	売上高	貸方	320

CSVファイル取り込みでの連携

会計サービスではCSVファイルによるデータ取込み機能が提供されているケースが多い。
kintoneにある販売管理アプリから、 krewDataで会計サービスのインターフェースに合わせた仕訳レコードを自動作成し、CSVファイル出力用のアプリに出力する。
アプリからCSVファイルを出力し、会計サービスに取り込むことでデータ連携が可能。

※ 会計サービスから連携用アプリ(プラグイン)が提供されている場合も同様に、インターフェースに合わせたデータ成型をすることで連携できる。

10 ❶ 顧客情報をクレンジングする

顧客管理

フローのPoint

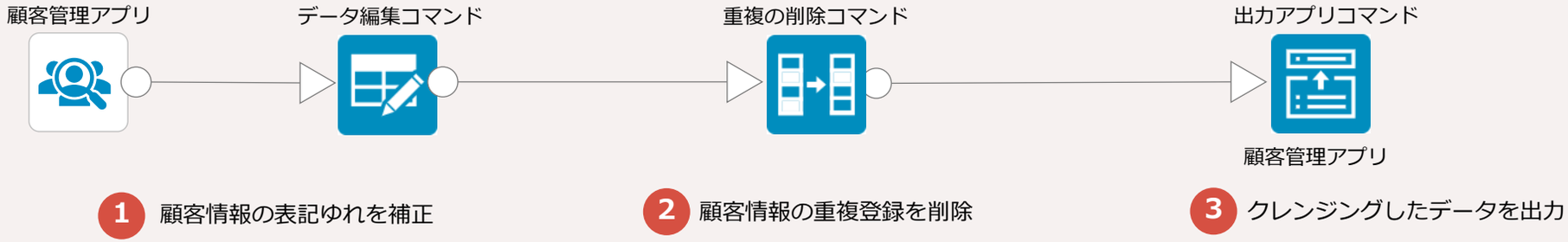
- 顧客管理アプリの任意の文字列を一括で置換する
- 顧客管理アプリから重複を検出し最新レコード以外を削除する

効果

表記ゆれを補正、重複を削除することで一貫した方法での
レコード検索と正確な顧客情報の把握につなげる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



データ編集コマンド

株式会社表記などの顧客情報の表記ゆれを補正する

- 株式会社 → （株）
- 半角カタカナ → 全角カタカナ

顧客名	担当者名	登録日
（株）荒人物産	川崎 丈史	2018/7/7
口延測量（有）	吉沢 獅童	2018/12/1
アラタ設計事務所	末永 妃里	2019/9/9
（株）荒人物産	松野 有海	2020/1/31
…		

重複の削除コマンド

重複登録された顧客情報の内、登録日が一番新しい
レコード以外を削除する

顧客名	担当者名	登録日
（株）荒人物産	川崎 丈史	2018/7/7
口延測量（有）	吉沢 獅童	2018/12/1
アラタ設計事務所	末永 妃里	2019/9/9
（株）荒人物産	松野 有海	2020/1/31
…		

出力アプリコマンド

顧客管理アプリのレコードをすべて削除し、クレン
ジングしたデータを顧客管理アプリに登録する

顧客名	担当者名	登録日
口延測量（有）	吉沢 獅童	2018/12/1
アラタ設計事務所	末永 妃里	2019/9/9
（株）荒人物産	松野 有海	2020/1/31
…		

登録日が一番新しいレコード以外を削除

10 ❷ 関連する案件金額の合計をリアルタイムに集計する

顧客管理

フローのPoint

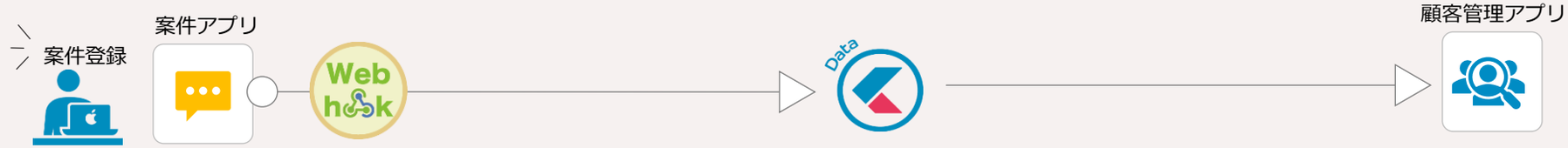
- 関連する案件金額の増減をリアルタイムに反映する
- 案件金額(関連レコード)を集計する

効果

案件情報が更新されたタイミングで、関連する案件金額を自動集計することで、顧客情報の齟齬をなくすことができる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



1 案件登録と同時にkrewDataを呼出し

2 関連する顧客情報の案件金額を集計

Webhook(通知を送信する条件：レコードの追加)

案件管理アプリにレコードを登録したタイミングで、Webhookによる通知をkrewDataに送信し、リアルタイムに集計処理を実行する

案件アプリ

案件名	顧客名	担当者	確度	金額
支援ツール	金都運総研	下山 達士	100%	600

案件追加

案件名	顧客名	担当者	確度	金額
支援ツール	金都運総研	下山 達士	100%	600
採用管理	金都運総研	下山 達士	60%	2000

関連レコードを自動集計

関連レコードを自動集計

関連レコードを集計する

関連する案件が登録された顧客情報の案件金額(関連レコード)を集計し、案件金額合計を算出する

顧客管理アプリ

顧客名	住所	担当者	案件金額合計
金都運総研	岐阜県岐阜市	下山 達士	600

顧客名	住所	担当者	案件金額合計
金都運総研	岐阜県岐阜市	下山 達士	2600

関連レコード（案件一覧）

案件名	確度	料金
支援ツール	100%	600

案件名	確度	料金
支援ツール	100%	600
採用管理	60%	2000

11 ❶ 点在するマスタ情報を統合する

マスタ管理

フローのPoint

- 各商品マスタの項目とデータを調整しレコード構造を統一する
- 各商品マスタのレコードを集約し1つの商品マスタに統合する

効果

点在していたマスタレコードを統合し一元管理することで、管理工数を削減しデータの整合性を担保することができる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック

データ編集コマンド

各商品マスタをレコード結合できるように、項目とデータを調整し、レコード構造を統一する

商品マスタ1

商品名	商品区分	適用開始日	適用終了日	月払	年払
はや回線	基本料	2018/1/1		100	1000

月払・年払を請求単位に変換

商品名	商品区分	請求単位	適用開始日	適用終了日	料金
はや回線	基本料	毎月	2018/1/1		100
はや回線	基本料	毎年	2018/1/1		1000

商品マスタ2

商品名	商品区分	請求単位	料金
iTad Pro	リース	毎月	80
スイッチハブ	レンタル	毎年	420

不足項目を追加

商品名	商品区分	請求単位	適用開始日	適用終了日	料金
iTad Pro	リース	毎月	2020/1/1		80
YKハブ	レンタル	毎年	2020/1/1		420

商品マスタ3

作業項目	工賃
ケーブル引込み	700

請求区分・請求単位に変換
不足項目を追加

商品名	商品区分	請求単位	適用開始日	適用終了日	料金
ケーブル引込み	工賃	一括	2020/1/1		700

レコード結合コマンド

レコード結合により、1つの商品マスタにレコードを統合し、マスタを一元管理する

商品名	商品区分	請求単位	適用開始日	適用終了日	料金
はや回線	基本料	毎月	2018/1/1		100
はや回線	基本料	毎年	2018/1/1		1000
iTad Pro	リース	毎月	2020/1/1		80
YKハブ	レンタル	毎年	2020/1/1		420
ケーブル引込み	工賃	一括	2020/1/1		700

11 ❷ マスタ更新をリアルタイムに反映する

フローのPoint

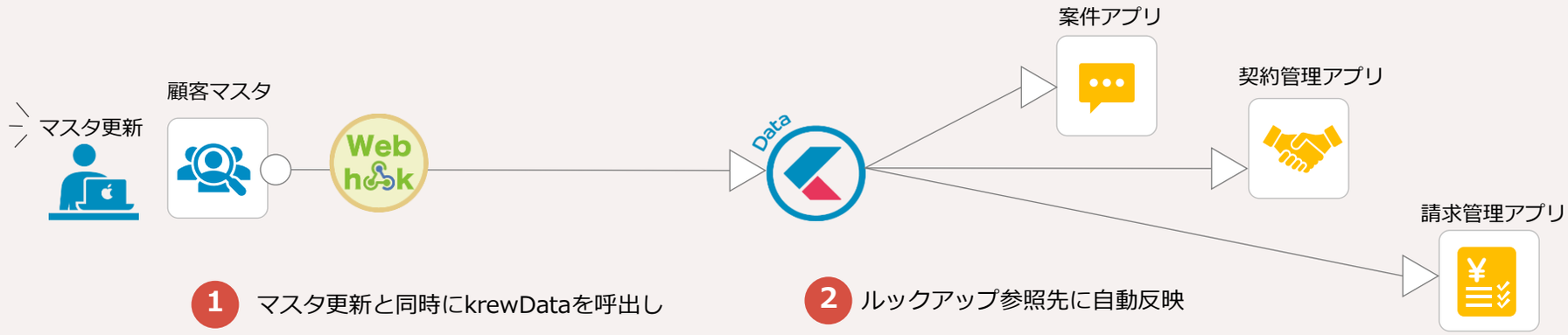
- マスタ更新に連動してルックアップの参照先を更新する
- 条件設定によって適切なレコードだけを更新する

効果

マスタアプリの変更を自動反映することで、データ管理の工数を削減し、参照先アプリの整合性を担保することができる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



Webhook(通知を送信する条件：レコードの更新)

顧客マスタのレコードを更新したタイミングで、Webhookによる通知をkrewDataに送信し、リアルタイムにマスタ更新を反映する

顧客マスタ

顧客名	担当者	住所	電話番号
ヨドミチカメラ	小藪 景太	東京都墨田区亀沢	033-1234

マスタ更新

顧客名	担当者	住所	電話番号
コヤマダカメラ	小藪 景太	東京都泉区紫山	033-1234

レコード自動反映

ルックアップを自動反映する

ルックアップ参照先アプリの該当レコードに自動反映する
フィルタコマンドを使用すれば、適切なレコードにのみ反映も可能

案件アプリ

案件名	顧客名	担当者	住所	活動日
POP制作	コヤマダカメラ	小藪 景太	東京都泉区紫山	2020/4/7

契約管理アプリ

契約No	顧客名	担当者	住所	契約日
CN01	コヤマダカメラ	小藪 景太	東京都泉区紫山	2020/4/25

請求管理アプリ

請求No	顧客名	担当者	住所	請求日
INV01	ヨドミチカメラ	小藪 景太	東京都墨田区亀沢	2019/1/31
INV07	コヤマダカメラ	小藪 景太	東京都泉区紫山	2020/5/31

特定レコードに反映可能

12 ❶ 在庫引当を自動化する

フローのPoint

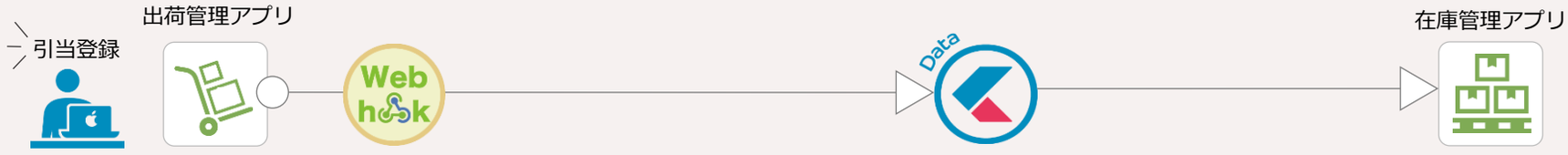
- 出荷業務の進行と連動して在庫数を自動調整する
- 出荷業務の進行ステータスによって在庫数を適切に調整する

効果

在庫管理業務に必要なリアルタイム性を担保し効率化、
入出荷業務の食い違いをなくすことができる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



1 ステータス更新と連動してkrewDataを呼出し

2 該当品目の在庫数を自動調整

Webhook (通知を送信する条件：ステータスの更新)

出荷管理アプリで該当データのステータスを引当に更新したタイミングで、
Webhookによる通知をkrewDataに送信し、リアルタイムに在庫引当処理を実行する

出荷管理アプリ

ステータス	品目名	受注数	受注日
受注	品目A	200	2020/4/20

受注内容確認後
在庫を引当

ステータス	品目名	受注数	受注日
引当	品目A	200	2020/4/20

該当品目引当後の
在庫レコードを自動作成

在庫数を自動で引当てる

出荷管理アプリのステータス更新にあわせて、該当品目の在庫数を自動調整する
有効在庫数から出荷管理アプリの受注数を減算したレコードを自動作成する

在庫管理アプリ

入出荷日	品目名	引当数	出荷数	有効在庫数	実在個数
2020/4/1	品目A		100	450	450

入出荷日	品目名	引当数	出荷数	有効在庫数	実在個数
2020/4/1	品目A		100	450	450
2020/4/20	品目A	200		250	450

12 ❷ 不足する在庫を発注依頼する

在庫管理

フローのPoint

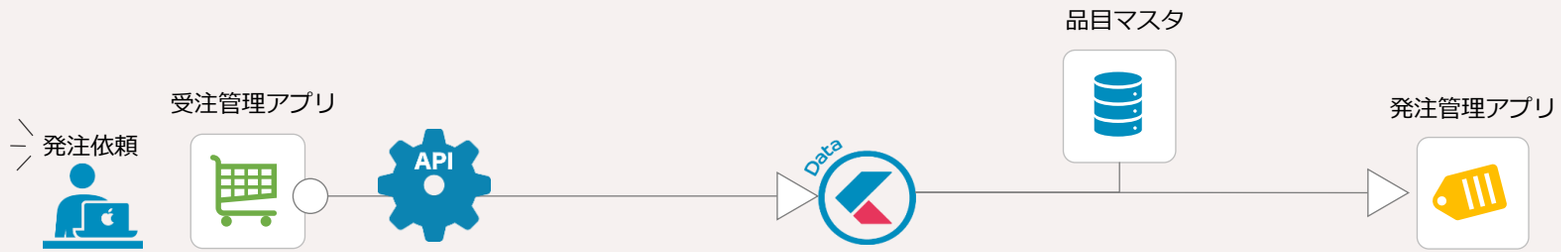
- 在庫数の不足時にワンクリックで発注依頼する
- 品目ごとの発注数を自動判定する

効果

受注数が在庫数を上回る場合に、ワンクリックで必要な品目の発注依頼をすることで、スムーズな受注業務を実現できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



1 ボタンクリックでkrewDataを呼出し

2 品目マスタから発注数を参照し該当品目を発注依頼

API呼び出し（ボタンクリックでの呼び出しにはカスタマイズが必要）

受注管理アプリの関連レコードで現在の在庫状況を確認する在庫が不足する場合にはボタンクリックで通知をkrewDataに送信し、即時で発注依頼をかける

不足する品目を発注依頼する

現在の在庫数にあわせて、各品目ごとの適切な発注数を判定する
発注管理アプリに不足する品目の発注依頼レコードを自動登録する

受注管理アプリ

ステータス	品目名	受注日	受注数
受注確認	品目A	2020/4/15	10

関連レコード（在庫状況）

入出荷日	有効在庫数	実在庫数
2020/4/1	5	20
2020/4/10	5	5

受注数よりも実在庫数が少ない

発注依頼レコードを自動作成

発注管理アプリ

ステータス	発注依頼日	品目名	数量
発注依頼	2020/4/15	品目A	30

品目マスタ

品目名	発注数
品目A	30

品目マスタを参照して発注数を自動判定

13 ❶ 見積から受注伝票を自動出力する

受注管理

フローのPoint

- 受注したタイミングで見積から受注データを自動登録する
- 受注データから受注伝票を自動出力する

効果

手作業による転記登録や伝票出力を省略することができ、受注業務を大幅に効率化できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック

1 ステータス更新と連動してkrewDataを呼出し

2 受注データを自動登録

3 受注伝票を帳票出力

Webhook (通知を送信する条件：ステータスの更新)

見積管理アプリでステータスを受注に更新したタイミングで、Webhookによる通知をkrewDataに送信し、リアルタイムに受注登録処理を実行する

テーブル

ステータス	見積No	顧客名	商品名	金額
見積	EST-001	福山商店	酪農ミルク	200
			いよかんドリンク	900

テーブル

ステータス	見積No	顧客名	商品名	金額
受注	EST-001	福山商店	酪農ミルク	200
			いよかんドリンク	900

受注レコードを自動登録

受注データを自動登録

受注にステータス更新した見積データを基に受注伝票アプリに受注データを自動登録する

受注伝票アプリ

テーブル

伝票No	見積No	顧客名	受注金額	商品名	金額
VOU-001	EST-001	福山商店	1100	酪農ミルク	200
				いよかんドリンク	900

RepotoneU出力コマンド

krewDataの外部連携コマンドであるRepotoneU出力コマンドを利用して、データ編集フローの実行結果を帳票出力できる

リアルタイム実行とあわせて利用することで、受注データ登録と受注伝票出力を自動化する。

※RepotoneUは株式会社ソウルウェアが提供するプラグインです。当コマンドを利用するにはご利用のkintone環境にRepotoneU Proがインストールされている必要があります。

14 ❶ 経費予算の利用状況を把握する

経費管理

フローのPoint

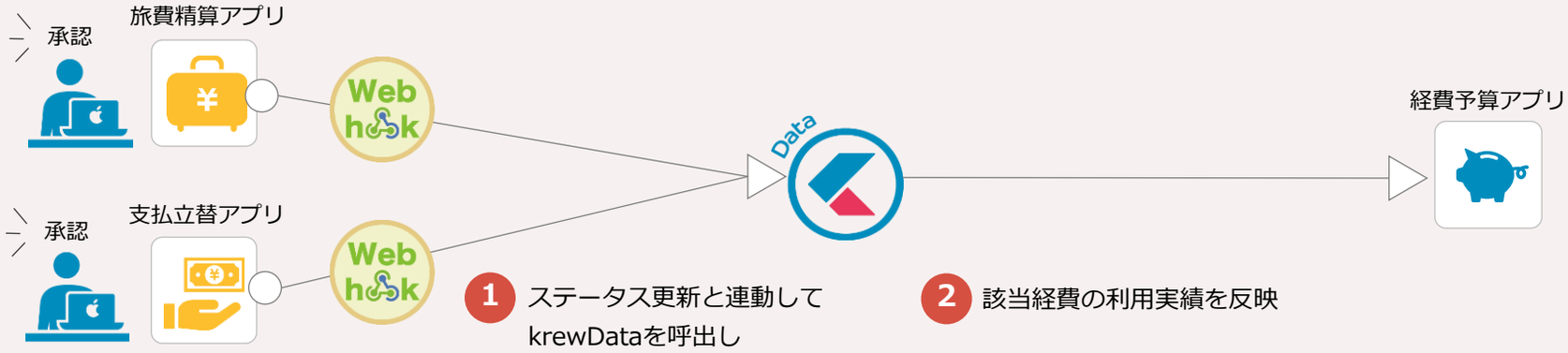
- 各種精算アプリの実績をリアルタイムに集計する
- 経費予算アプリに集計した利用実績を反映する

効果

現在の経費予算の利用状況を正確に把握することができ、
浪費の防止、予算の見直しなど経費利用を最適化できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



Webhook(通知を送信する条件：ステータスの更新)

各種精算アプリに登録される利用申請レコードが承認されたタイミングで、
Webhookによる通知をkrewDataに送信し、リアルタイムに利用実績を反映する

利用実績をリアルタイムに反映する

経費予算アプリの該当レコードに利用実績を自動反映する
予算残などの必要な情報もあわせて算出する

旅費精算アプリ

ステータス	出張日	部門	申請者	金額
承認済み	2020/4/1	営業	山吹 信二	120

支払立替アプリ

ステータス	支払日	部門	申請者	用途	金額
承認済み	2020/4/15	営業	小泉 涼子	荷造運賃	20

対象レコードの利用実績を自動更新

経費予算アプリ

会計年度	月	部門	科目	予算	実績	予算残
2020	4	営業	旅費交通費	950	0	950
2020	4	営業	荷造運賃	200	0	200

会計年度	月	部門	科目	予算	実績	予算残
2020	4	営業	旅費交通費	950	120	830
2020	4	営業	荷造運賃	200	20	180

kintoneの外にあるデータの活用

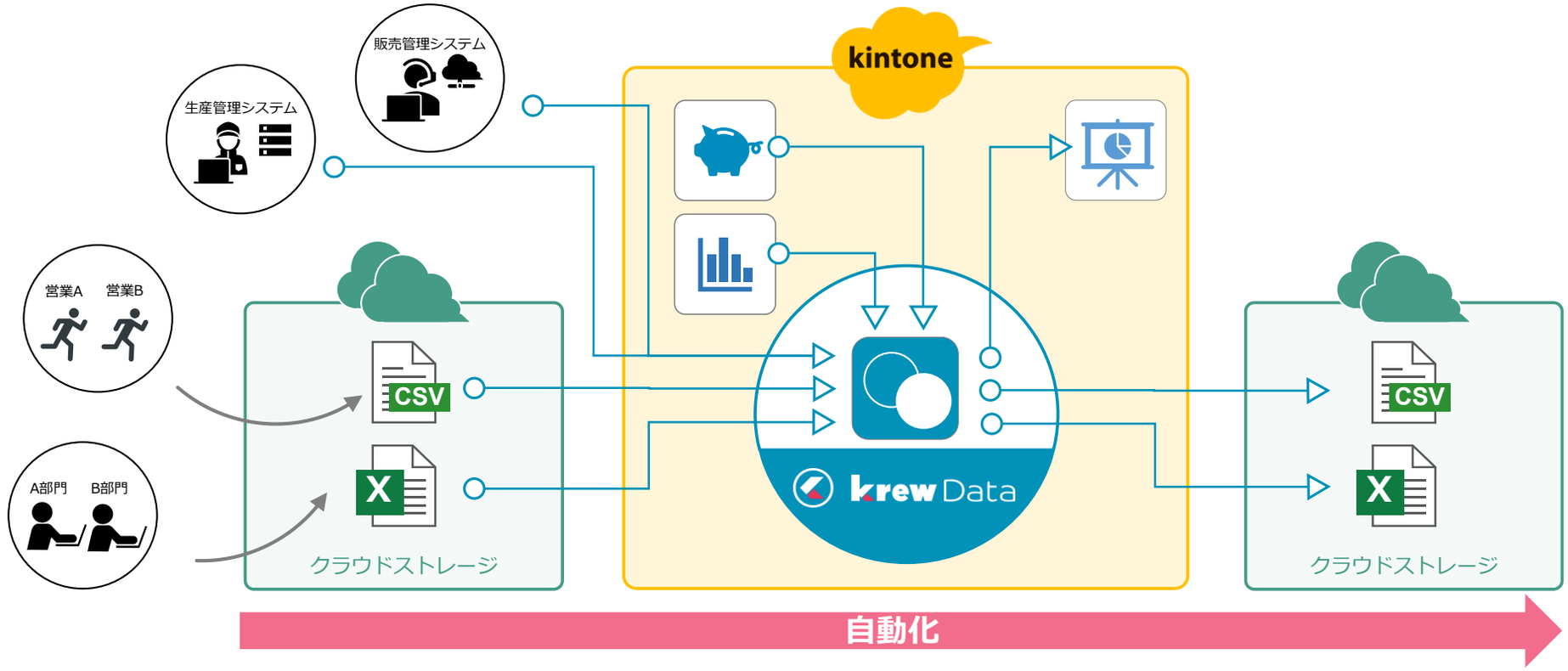
ここまでは、krewDataを使ってkintoneの「中」にあるアプリのデータを活用してさまざまな業務改善のフローを紹介しました。kintoneだけでもかなりいろいろな集計ができることがお分かりいただけたと思います。

しかし！実はkrewDataは外部SaaSや基幹システム、業務Excelファイルといった、kintoneの「外」にあるデータを取り込んだり、「外」にデータを出力したりすることもできるのです。

外部SaaSの販売管理システムやクラウド上に構築した生産管理システムなどの基幹システムと直接データ連携、システムからファイル出力したCSVや業務Excelファイルをkintoneに自動で連携可能！

外のデータとkintoneのデータをExcelで集計/加工してレポートを作成したり、kintoneに転記登録したりといった「業務のための業務」はよくありますが、krewDataを使うことでこうした業務を自動化できるようになります。

具体的にどういう業務フローを作成できるのか次のページからシナリオをご紹介します。



15 ❶ 基幹システムの顧客情報を同期する　外部データ連携

フローのPoint

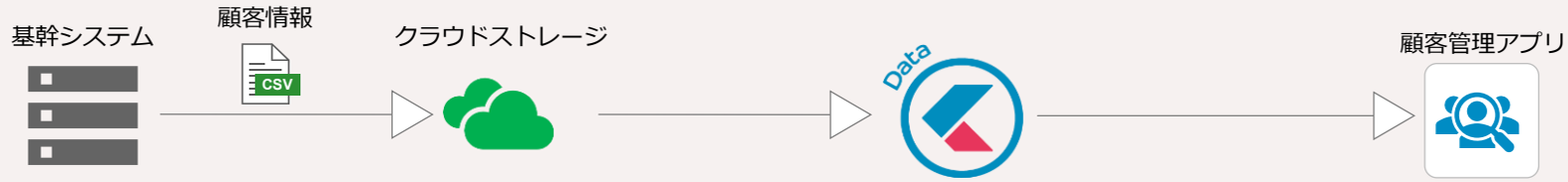
- 基幹システムの顧客情報を自動で取り込む
- 基幹システム側の更新を自動反映する

効果

マスタデータの2重管理による、登録データの誤りや漏れなどの不整合を防止できる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



1. クラウドストレージに顧客情報をアップロード
2. krewDataがファイルを自動取得
3. 基幹システム側の更新内容をアプリに自動反映

CSV出力による連携

どのシステムも備える、データのCSV出力機能を使って連携できる。
基幹システムのマスタ情報を出力し、所定のクラウドストレージにアップロードすると、krewDataが設定したタイミングでファイルを自動取得する。

krewDataにデータの取得から加工／集計までを一任できるため、 APIなどを用いた連携の仕組みを開発することも不要。

基幹システムのマスタ情報をkintoneに自動反映する

顧客管理アプリの該当レコードの自動更新、基幹システム側で新たに追加された顧客情報をレコードとして自動追加できる。
人手を介さないため、精度高くkintone側へ同期できる。

顧客情報CSV

顧客番号	顧客名	担当者	住所
10	佐々木精肉店	大沢 明子	東京都墨田区
11	ミート桑井	桑井 友吉	東京都北区

同期

顧客管理アプリ

顧客番号	顧客名	担当者	住所
10	佐々木精肉店	小藪 景太	東京都墨田区

追加／更新

顧客番号	顧客名	担当者	住所
10	佐々木精肉店	大沢 明子	東京都墨田区
11	ミート桑井	桑井 友吉	東京都北区

15 ❷ Excel請求書をkintoneで管理する

外部データ連携

フローのPoint

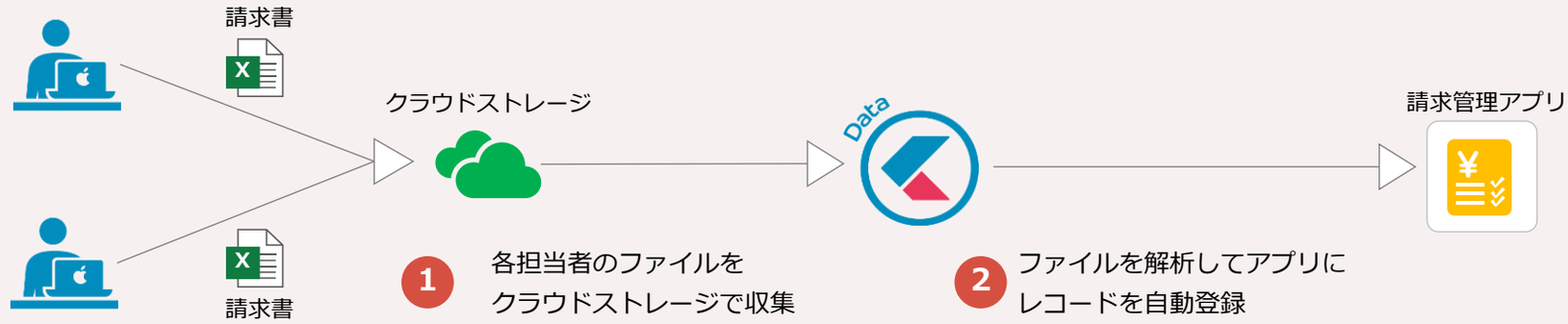
- 現場がExcel管理している請求書を自動で取り込む
- 単票形式の明細情報をテーブルとして登録する

効果

現場がExcel管理している請求書を、請求管理アプリに取り込むことでkintone上で支払い状況の管理ができる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



現場Excelをクラウドストレージで一元管理

現場で管理されるExcelは、所定のクラウドストレージにアップロードするだけで良く、ファイルの収集作業を簡易化できる。

単票形式ファイルのフォーマットを解析して、レコードを自動登録する

単票形式ファイルのフォーマットを解析して、対になるアプリのフィールドに値を登録する。明細の読み込みにも対応しているため、請求に関する基本情報はレコードに請求明細の情報はテーブルに分けて登録する。

レコード				テーブル	
請求No	顧客名	請求日	合計金額	商品	料金
INV07	のにわ鉄道	2021/4/30	60	krewSheet	25
				krewData	15
				krewDashboard	20

15 ❸ クラウド型販売管理システムの売上実績を連携する　外部データ連携

フローのPoint

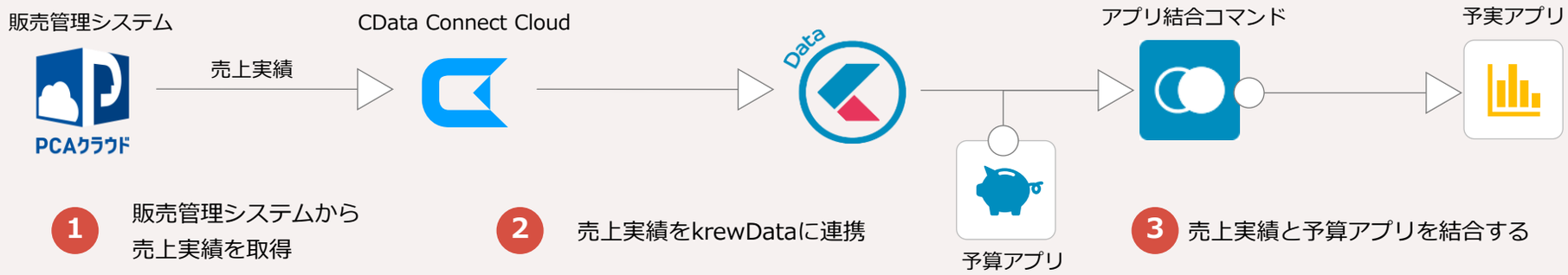
- クラウド型販売管理システムの売上実績を自動で取り込む
- kintoneの予算アプリと結合する

効果

クラウド型販売管理システムの売上実績とkintoneで管理している予算データを結合し、予実状況を把握することができる。

データ編集フローの概要

krewDataドリルでチェック



CData Connect Cloudによる連携

事業や業務に特化した販売管理システムなど、外部SaaSを利用するケースは往々にしてある。
CData Connect Cloudとの連携機能を利用すると、外部SaaSやクラウド上に構築した基幹システムとデータ連携し、任意のタイミングでkintoneへデータを自動取り込みできる。
CData Connect Cloudでは100種類を超える外部SaaSやクラウドDBにノンプログラミングで接続できるのも特長。

※CData Connect CloudはCData Software Japan合同会社が提供する製品です。krewDataとの連携機能を利用するには別途ご契約が必要です。

売上実績と予算アプリを結合

予算アプリ

予算年月	店舗	製品分類	予算
2021/4	秋田店	AV家電	120
2021/4	秋田店	生活家電	340

売上実績

計上月	売上店舗	製品分類	売上
2021/4	秋田店	AV家電	100
2021/4	秋田店	生活家電	360

CData Connect Cloud連携で取得したデータをそのままkintoneアプリ内のレコードと結合して集計できる。販売管理システムから取得した売上実績データを、kintoneに登録された予算アプリのレコードと結合する。

予実アプリ

予実年月	店舗	製品分類	予算	売上
2021/4	秋田店	AV家電	120	100
2021/4	秋田店	生活家電	340	360

予算アプリ　売上実績CSV

krewData に関するお問合せ

導入に関する
お問い合わせ

無料お試し版
のお申込み

お見積り依頼

技術サポート

https://krew.mescius.jp/contact/

kintoneで脱Excelを実現するプラグイン

MESCIUS

cybozu Official Partner

お問い合わせ
メシウス株式会社 Enterprise Solutions事業部 営業部
メール： es.sales@mescius.com
Phone：050-5490-4660

・MESCIUSはメシウス株式会社の登録商標です。
・サイボウズ、Cybozuおよびkintoneはサイボウズ株式会社の登録商標です。
・その他記載されている製品名は各社の登録商標または商標です
・本冊子は、2024年7月現在のもので記載内容は予告なく変更することがあります。

第8版